



議会だより

No. 54 2018年5月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実
●編 集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信 始めました!

南魚沼市議会 録画配信

検索



国の重要無形民俗文化財 浦佐毘沙門堂裸押合大祭

平成30年度一般会計予算審議・修正案・討論	2～4
平成29年度補正予算・その他議案審議	5
平成30年度特別会計、企業会計予算審議・請願審査	6・7
3月定例会全議決結果	8・9
一般質問 15名が市政を質す	10～15
各常任委員会報告・議会の動き	16・17
平成29年度行政視察受入状況	18

平成30年度一般会計当初予算

299億2000万円(前年度比3.3%減)に

(詳細は市報予算特別号をご覧ください)

平成30年度
一般会計予算

質疑応答

Q&Aは一部のみを掲載しています。

必要である。

歳入

Q 入湯税滞納はどうなっているか。

A 申告が遅れている業者はあるが、滞納の繰り越しはない。

Q 魚沼産コシヒカリが特AからAランクとなり、税収への影響の懸念は。

A 予想できない。仮渡し金、反収が目安となる。

歳出

議会費

Q 議会検索システムの導入の予算化はできないか。

A 継続的に要望を上げているが、全体的予算で実現できていない。

Q 議会のインターネット中継は、リアルタイムにできないか。

A 編集が必要なおもあり、現状のシステム、限られたスタッフではタイムラグが

総務費

Q 市民バスの運行をこの間の利用状況に合わせて、路線を見直す時期ではないか。

A 交通事業者がどこまでできるか、今後具体的に検討していきたい。

Q 移住・定住事業は成果も上がっていないので、見直すべきではないか。

A まちづくりの最上位計画で、総合計画と整合して動いている。

Q プロモーション企画の目的と、取り組む意義と具体的な内容は。

A 雪国のイメージを変える。南魚沼市のブランド力を上げて、移住・定住につなげる。具体的な内容は渋谷区と検討中。

民生費

Q 紙おむつ給付費が年々減額になっているが、利用者は納得しているのか。

A 早くから予告をしていたため混乱はない。当初は問い合わせもあったが、理解していただいている。

Q 子ども医療費助成事業が拡大されたが、県の制度も拡大され補助も増えているので、さらなる拡大ができるのでは。

A 1400万円ほど増額になり、今回の拡大分を上回っているが、子育て支援全般に充当した。

Q 学童保育の待機者の現状と対策は。

A 50名の待機者がいるが、職員の確保ができないことが、受け入れられない原因だ。年間を通した職員確保を目指しながらも、臨時の職員での対応も考えていく。

衛生費

Q 地盤沈下対策に関し、国・県道の消パイから晴れているときでも水が出ているが対策は。節水器機設置補助金の対象件数は。

A パトロールを行い、県の振興局に協力を要請している。節水器機設置補助金は65件を予定している。

Q 広域ごみ処理施設の建設予定地が決まったが、今後どのように取り組んでいくのか。

A 気持ち新たに取り組み、十分な地元説明を行っていく。

Q 有害鳥獣対策事業で被害が拡大しているが、実施隊員の育成は進んでいるか。

A 現在実施隊員は88名、自営業で即対応できる隊員は10名。平成25年から新たに18名が隊員になった。

農林水産業費

Q 農業の担い手として、新たな経営体や大規模農家の育成も重要だが、経営の継承が担保できる法人や組織立ち上げの進捗状況はいかに。

A 市と振興局による集落営農組織の育成相談等により、法人数は確実に増えている。法人化の意欲があれば、市と県で積極的に法人化支援を行い、補助制度もあるため積極的に進める。

Q 魚沼コシの特Aからの転落問題に対し、作付前に原因の究明と対策に取り組む

ということだが、どのように取り組むのか。

A 3月8日に市主催で、県の農林振興部、両JＡと「食味ランキングに係る検討会」を開催した。今後は、魚沼米の5市2町で検討会議を設置し、Aランクになった要因と課題を整理し、その対応を農業者の皆さんにお知らせすることで、より良食味で高品質な米の生産ができるよう対応していく。

Q 有機センターの経営悪化に伴う、30年度の経営見込は。

A 昨年の凝集促進剤の問題が経営を圧迫し、400万円強の赤字見込みである。その後の法改正により、今現在は正規の堆肥販売となり、通常ベースに戻るものと考えている。

Q 畔抜き事業の200万円減額は、実績による減なのか。

A この事業は要望も多いが予算編成上の問題もあり、来年度は200万円の予算とした。今後、必要があれば財政係と調整をしたい。

商工費

Q 雪まつりは会場設営にお金がかかり、企画の予算がなく頭を悩ませている。今後の運営についての考えをうかがう。

A 雪まつりは、会場費がかかることは事実なので、実行委員会と協議し、予算も含めて良い方向でいければと思う。

Q ほくほく線負担金について、北越急行は独自の戦略でいろいろなことをやっているが、市も一緒になって援助していくという姿勢がこの金額を見るとない。年度途中で出てきた場合には援助するとか、現在打ち合わせ中のものがあるのか。

A 負担金については例年通りだが、北陸新幹線等の関係から、ほくほく線を充実したいという要望があれば、他市町村と共に協議会の中で検討したい。

Q 中小企業金融制度事業費が1億4000万円減額となっている。全国的にはオリンピックに向けて投資をしているなかで、お金を借

りる人が減っている状況はどうみているのか。

A 近年金利が低下し、県の融資制度も非常に充実してきており、そちらに融資が移っている。資金需要自体は伸びていると思う。

Q 雪国観光圏の補助金が毎年増えているが、南魚沼市にとって具体的にどのようなメリットがあるのか。

A 雪国観光圏については、具体的な成果が見えてきていない。今後インバウンドの対応として必要となる、周遊という部分では進んだ対応だと考える。日本版DMOにも認定され、より一層発展させていかなければならない。

Q 伝世館は、10年を過ぎるという節目のタイミングだが、今後どのような展開を考えているのか。

A この施設利用は大きな課題である。民間利用も含め早めに検討し、良い方向にもっていききたい。

Q 八海山麓スキー場のリフトはかなり老朽化しているという話は聞くが、100万円程度の修繕費で対応で

きるのか。

A 毎年受けるリフトの点検整備費で、必要最低限のものである。

土木費

Q 機械除雪は路線見直しで20kmほど減らす考えだが、地元の同意はどう考えるか。

A 見直し検討委員会で検討した結果を丁寧に説明し、同意がなければ実施できないと考えている。

Q 六日町駅前のシンボル施設の借地料が600万円と高いが、減額交渉しているのか。

A これまで4回ほど交渉はしたが減額となっていない。市有住宅の修繕費80万円で、まかなえるのか。

A 現在44戸中30戸入居、おにも浴室台所の設備関係の修繕である。

消防費

Q 山の遭難が増えている。山岳救助の備品は予算化されているか。

A 救助工作車等予算に反映している。消防署員の新規採用がな

いが、年齢構成面で必要でないか。

A 基本、退職補充の考え方である。今後、採用1年目は消防学校等で実務ができないため、前倒し採用を考えている。

教育費

Q モンスターパイプに照明をつけることにより、利用者の見込みと電気料は。

A 具体的な数字は出ないが、夜間冷え込みでパイプの持ちが良く、子どもの利用が増えると思われる。電気料はLED使用により、10万円程度となる。

Q 図書館に、わかりやすく学べる漫画を置いてほしいとの声があるが。

A 貸出しを考えると雑誌的なものは難しいが、考えていく。



一般会計当初予算に修正案が提出されました

(全体で1000万円減額)

提出者・寺口友彦 賛成者・佐藤剛、田中せつ子、梅沢道男

修正内容

歳出

総務費の企画プロモーション事業費を1000万円減額

歳入

繰入金の財政調整基金繰入金を1000万円減額

提案理由

企画プロモーション事業の1500万円の予算は、中身の説明を聞いても具体的な内容に乏しく、市長の思いがきちんと伝わる予算組みとなっていない。12月議会の補正予算700万円ですべての雪を使い、2020年東京オリンピックに向けて南魚沼市をPRしたいとの思いは議会も同じではあるが、内容があまりに不透明であり、この予算がその思いに通じるものであるかという点について、判断ができない。

審議に足る計画を練って、しっかりした予算を6月補正で提出いただき、審議をしたいという思いから企画プロモーション事業費を500万円に減額する修正案を提出する。

平成30年度 南魚沼市一般会計予算

討論

修正案反対 (南魚みらいクラブ)

修正案が出された企画プロモーション事業は初の取組であり、具体的な計画は渋谷区との調整が必要であるが、雪の魅力や伝統文化等を全国や世界へと発信できる事業と考える。市長自ら先頭に立って取り組む事業であり、未来につながる投資でもある。また、新年度予算は、保健・医療・福祉では市民の命を守り育てることを柱にした予算であり、ふるさと納税制度の拡充も含め、市長が積極的に前に進めていくとする期待が持てる取組であり、各事業の位置づけ、方向性・優先度を判断し、限られた財源の効果的な活用を努めた予算である。

修正案が出された企画プロモーション事業は、雪の魅力を伝える事業と考える。市長自ら先頭に立って取り組む事業であり、未来につながる投資でもある。また、新年度予算は、保健・医療・福祉では市民の命を守り育てることを柱にした予算であり、ふるさと納税制度の拡充も含め、市長が積極的に前に進めていくとする期待が持てる取組であり、各事業の位置づけ、方向性・優先度を判断し、限られた財源の効果的な活用を努めた予算である。

修正案・原案反対 (日本共産党議員団)

平成30年度一般会計予算は、年度末起債残高見込み額は全会計で831億円と大きな荷物となっている。ふるさと納税は実態が見えにくく、財源として使える額を常に示すべき。

修正案が出された企画プロモーション事業は何をするか未定であり、計画と事業費は明示して取り組むべき。

南魚沼版CCRCはあくまでも民間企業がやることで、行政が深入りするものでない。

新ごみ施設を国際大学用地内として説明に入ったが、環境問題は慎重な取組が必要。市民の理解を得ながら、分別・リサイクルで資源循環型社会の構築を目指す。水道料金は基本料金は下げたが、1件当たり年間2,580円の値下げに留まっている。県平均の1m³150円を目指すべき。

修正案賛成 (市民クラブ)

企画プロモーション事業は、雪を活用し、南魚沼市のPRをするための予算だが、具体的な事業計画と予算の提案が必要だ。説明では、渋谷区との協議を進めているというが、事業内容は予算審議に足る方針や計画の提示はなく、市長の「とにかく時間がない」との言葉どおりまだ構想の段階であり、未定の状況と言わざるを得ない。

このような不十分な説明と判断材料では、議会として「チェック機能」を果たすことはできない。この事業は、実施に向けた取組が必要との認識については市長と同じだが、現状では市長への白紙委任となってしまう。議会の責任を果たせない。6月議会に向け検討を進め、議会として責任を持って判断できる計画と予算の提示が必要である。

修正案反対・原案賛成 (未来創政会)

平成30年度一般会計予算は299億円、3.3%減の予算となり、経費の削減による集中と選択の重さを感じる。

予算の修正動議が出されたが、内容が決まらないなかでの予算計上なのでわかるような気もするが、新たな発想でチャレンジする市長のリーダーシップに期待したい。

今年度予算は道路の橋梁修繕・道路改築等で20億円を予算計上している。六日町ハイパス・浦佐ハイパス・八箇峠道路など、早期供用開始に向けて頑張っていたきたい。

子ども医療費の窓口無料等の負担軽減も大いに評価したい。介護職員の初任者研修受講料を全額補助するなど、市独自の事業に乗り出したことに評価する。

修正案反対・原案賛成 (歩む会)

前年比3.3%減の299億円あまりの苦渋に満ちた予算、一般会計起債残高は400億円を超え、喫緊の課題である財政健全化を見据えた予算である。子育て支援・介護・教育など課題山積であり、自主財源が50%にも満たない限りある予算の中で予算編成には、市長はじめ執行部の努力が見られる。小学校統廃合による改築、樋渡東西線の線路アンダーパス本体工事、三中学校統合による八海中学など、大きな投資的事業で必然的事業など積極的に進めている。

子ども医療費助成、障害者自立支援事業の拡充、財政健全化と言いつながら、やらなければならぬ事業は多方面である。各論に疑義は残るが、総論概ね賛同できるものと考えている。

賛成少数で否決

このプロモーション事業の趣旨には賛成するということが、500万円を残したが、説明があれば予算も認めるということか。

趣旨には賛成である。この500万円ですべての雪を使い、2020年東京オリンピックに向けて南魚沼市をPRしたいとの思いは議会も同じではあるが、内容があまりに不透明であり、この予算がその思いに通じるものであるかという点について、判断ができない。

趣旨には賛成である。この500万円ですべての雪を使い、2020年東京オリンピックに向けて南魚沼市をPRしたいとの思いは議会も同じではあるが、内容があまりに不透明であり、この予算がその思いに通じるものであるかという点について、判断ができない。

趣旨には賛成である。この500万円ですべての雪を使い、2020年東京オリンピックに向けて南魚沼市をPRしたいとの思いは議会も同じではあるが、内容があまりに不透明であり、この予算がその思いに通じるものであるかという点について、判断ができない。

賛成少数で否決

平成29年度
一般会計補正予算

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

Q 農地中間管理事業費が970万円の減額補正となっている。年度当初の計画では80〜90町歩とみられていたものが実績で54町歩となったが、農地集積にも先が見えてきているというところか。

A 農地集積の集計方法が、年度集計から年集計に変わったため、少ない実績となった。来年の実績を見なければ正確な対比はできない。

Q 消費者行政活性化事業費が246万円の減額となったのはなぜか。

A 市民向けの講座・学習会・講演会等を予定していたが、2市1町の協議がまとまらず、啓発チラシを配布したのみで、それ以外の事業は実施できなかつた。体制を整えて、新年度事業として取り組みたい。

Q 市民バス事業について、1100万円の減額となっているのはなぜか。

A 交通事業者の運行事業に対する赤字分を、市からの補助金として支払っている。おもに車検時における修繕費の減額で、企業側で経費節減に努めた結果、この減額となった。

Q バイオマス利活用事業費の交付金返還金636万円について、なぜこうなってしまったのか、行政の取組はどうであったか。

A 平成28年の秋に、ウッドペレットから事業継続が困難であるとの話があった。その後、市としても複数回の協議を重ね提案もしてきたが、昨年秋季に正式に事業継続を断念するにいたり、補助金の返還手続きに入った結果の計上となった。

Q 小学校大規模改造事業費が2億1400万円増となっているが、主な内容はなにか。

A トイレの改修、黒板の位置下げ、音楽室やプールの改修、エアコンの設置、校

舎の外壁の塗装などが予定されている。

Q ふるさと応援隊の入会者が少ないのはなぜか。ふるさと納税から、委託料やその他経費を除いた金額はどれくらいか。

A 昨年6月から返礼品付きで受け付けを開始したが、ふるさと応援隊は12月から募集した。12月〜1月で約2,000名を超え、順調な出だしたと思う。ふるさと納税の受け付けは、約8億3000万円、経費を引くと約2億2500万円である。

Q 可燃ごみ処理施設の燃料費が、1110万円の増額補正となるのはなぜか。

A LPガスの単価高騰によるものである。

Q 病院事業対策費として、約2億円の補正予算が組まれているが、市民病院と大和病院の内訳はどうか。

A 全額市民病院分である。

その他議案審議

第33号議案

南魚沼市指定地域密着型サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について

Q 大和病院の療養型病床38床が医療再編の段階で頓挫した。この状況を改善するために、介護医療院※をどう位置付け、取り組もうとしているのか。

A これから介護療養型病床がなくなる中で現在の利用者を含め不足が生じないよう、第7期介護計画では3か年で48床の整備を予定している。制度開始前であるため、ヒアリング等で事業者の状況を把握しながら、公募等を行う。

※介護医療院
要介護者に対し、「長期療養のための医療」と「日常生活上の世話（介護）」が一体的に提供され、介護保険を利用する施設です。

第35号議案

南魚沼市デイスポージャー設置条例の一部改正について

Q 下水道施設への影響はないのか。

A 全国4か所で実証実験をして下水道施設には影響なしとの結果が出ている。

Q 湯沢町と魚沼市の動向は。検討している段階である。

Q 普及率と設置費用、耐用年数は。

A 普及率は市内で42台。設置費用は10〜15万円程度で耐用年数は15年程度である。

Q 合併浄化槽への影響は。

A 下出浦地区で実証実験をした結果、問題はなかった。



総務文教委員会 審査報告 (抜粋)

(平成30年3月2日)

Q & Aは一部のみを掲載しています。

請願第1号

高速バス十日町―新潟線 の存続を求める請願

越後交通は高速バス十日町―新潟線の運行を9月末で終える方針を示した。2016年度は黒字経営ではあるが、今後は運転手が不足し、その確保のめどが立たないことや、利用者の減少に歯止めがかからない現状等により判断されたものである。

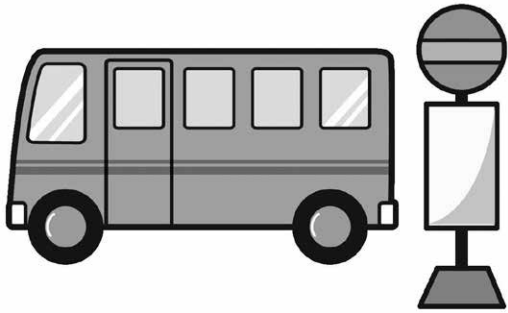
この高速バスは生活路線としての側面もあり、廃止されれば利便性が著しく損なわれることになる。そのため路線の存続を求め、新潟県に対し必要な支援策を講じるよう、意見書を提出してもらいたく請願する。

Q 「必要な支援策を講じること」とは、沿線の自治体に財政的支援を求めているのか、それとも県に対する

支援の請願なのか？

A これは存続に向けての県への請願であり、当市からの財政的支援という認識ではなく、県ができる行政指導等を含めた支援を願いたいという請願である。

◆全会一致で採択



産業建設委員会 審査報告 (抜粋)

(平成30年3月1日)

Q & Aは一部のみを掲載しています。

第12号議案

平成30年度 南魚沼市 下水道特別会計予算

Q 経費削減等によりに取り組んでいるのか。

A 水洗化率の向上と委託経費の削減に取り組んでいる。水洗化率の向上では、単独浄化槽の設置者に環境保全を強く訴えながら取り組んでいきたい。処理場の委託経費は単独ではなく、草刈り、処理場の清掃業務、雪囲い等を一括委託するとともに、処理水の品質や脱水汚泥の含水率についての成果も求める委託とすることで経費の削減を図る。また、農集排の公共下水道への統合が経費削減につながることを考えている。

Q 農集再編統合事業により使用しない施設が出るが、下水道事業の資産として残

らないよう積極的な対応を進めていただきたい。

A 水道の水源の用地にするなど、可能な限り資産の処分をしていきたい。下水道の資産ではなく、ほかの資産として活用できる道があれば一番良いと考えており、検討を進めていく。

Q 六日町浄化センターの施設管理費が突出しているが、今後の対策は。

A 六日町浄化センターの維持管理負担金は、今後も接続件数の増加や農集から特環への流入による処理水量の増加により増加していくが、その反面、農集の処理場の管理費が減少する。冬期間の不明水対策も進めながら可能な限り節減していく。

Q 地盤沈下問題にかかる管路調査の結果、逆勾配や亀

裂等の心配はないのか。

A 六日町市街地では地盤沈下がみられるが、下水道管も一緒に沈下しており、現時点では逆勾配になる心配はほとんどない。部分的な沈下が発生した場合の下水道管の破損についても、現時点でその現象はみられていないので、大丈夫だと考えている。今後2・3年ごとに、カメラ調査、下水道管の高低差の測量などを実施し、状況を把握していく。

Q デイスポーターの設置は、処理場の機能に影響しないのか。

A 国は以前からデイスポーターの導入と、生ごみの資源化によるエネルギー転換等の有効活用を進めてきた。処理場への影響もなく、南魚沼市においても4月から市内全域でデイスポーターを使用するようになる。

◆全会一致で可決

第13号議案

平成30年度 南魚沼市
水道事業会計予算

Q 有収率が全国平均を10%ほど下回っている。資料には施工不良とあるが、おもな原因は何か。

A 昔の工事の中には基礎に玉石がはしご式に置かれ、そこに荷重がかかり割れてしまう事例が発生し、有収率に影響している。

Q 水道事業の広域化について、過渡期対応のプランはあるか。

A 事業の共同化という点では、当市と十日町市は料金徴収関係と同じ業者に委託しており、魚沼市も含めた対応により経費削減効果が見込まれる。今後は魚沼市の動向等も含め検討を進め、管理の一体化や共同委託等についても検討していく。

Q 口径別水道料金の実現可能性はあるのか。

A 10mを基本水量としている市町村や団体が多いが、最終的には口径別料金体系

にする必要があると考えている。消費税の増税や畔地浄水場の方向性などをみながら検討していきたい。

Q 借入の償還について、今後、人口・給水量の減が見込まれる状況で担当課としての考えは。

A 基本的に施設建設については借入により対応することが原則であるが、上限を設け計画的に進めていく。施設は建設後何十年という長い期間使用することから、その負担は建設時の世代だけでなく、使用する将来の世代にも負担してもらうという意味からも、借入という形は続いていくが、償還については内部留保資金等で対応していく。

◆賛成多数で可決

社会厚生委員会 審査報告 (抜粋)

(平成30年2月28日)

Q & Aは一部のみを掲載しています。

第8号議案

平成30年度 南魚沼市
国民健康保険特別会計予算

Q 平成30年度は診療報酬の改定も行われるが、それを見込んだ予算なのか。

A 県がそれを見込んで算定している。

◆全会一致で可決

第9号議案

平成30年度 南魚沼市
後期高齢者医療特別会計
予算

Q 保険料引き上げの影響をどう捉え、どう対応していくのか。

A 年金支給額は増えることなく、物価は上昇してきている。生活しにくくなっているところに加え、保険料が上がることになる。苦情や相談が多くあると思うので、丁寧に

◆全会一致で可決

第10号議案

平成30年度 南魚沼市
介護保険特別会計予算

Q 家庭の事情も考慮し、特別養護老人ホームへ入所できるようにするべきではないか。

A 入所判定は、県が示した入所指針に基づき点数化し、各特養の法人が優先順位をつけている。何とかしなければならぬケースがあれば、包括支援センターに相談してほしい。

◆全会一致で可決

第11号議案

平成30年度 南魚沼市
城内診療所特別会計予算

Q 一番の問題は常勤医がないことである。これが解

決しないと、かかりつけ医になりにくいし、ますます厳しい状況になるのではないか。

A かかりつけ医となるには、最低でも週4日勤務の体制が望まれる。非常勤医師にも固定客がいるので、週4日勤務が可能になれば、非常勤医師も配置しながら良い医療体制になるのではないかと考えている。

◆全会一致で可決

第14号議案

平成30年度 南魚沼市
病院事業会計予算

Q 市民病院は赤字予算が組まれているが、そうならなくなるのはいつ頃なのか。

A 3億円ほどの赤字予算を組んだが、減価償却費の約5億3000万円が大きく影響している。これに見合う収益を上げることはなかなか難しい。まずは、現金収支の均衡を保ち、運営していく必要があると考えている。

◆全会一致で可決

議案番号	市長提出議案	議決結果
第30号議案	南魚沼市居宅介護支援事業及び介護予防支援事業に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第31号議案	南魚沼市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第32号議案	南魚沼市立城内診療所条例の一部改正について	可決（全会一致）
第33号議案	南魚沼市指定地域密着型サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第34号議案	南魚沼市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第35号議案	南魚沼市ディスプレイ設置条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第36号議案	市道の路線変更について	可決（全会一致）
第37号議案	南魚沼市トレーニングセンターの指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第38号議案	権利の放棄について	可決（全会一致）
第39号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第40号議案	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決（全会一致）
第41号議案	南魚沼地域広域市町村圏構成市町の公の施設の相互利用に関する協議について	可決（全会一致）
第42号議案	し尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務の受託について	可決（全会一致）
第43号議案	湯沢町が南魚沼市に委託する事務の変更について	可決（全会一致）
第44号議案	南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案番号	請願・陳情	議決結果
請願第1号	高速バス十日町—新潟線の存続を求める請願書	採択（全会一致）
議案番号	議員発議案	議決結果
第7号議案	平成30年度南魚沼市一般会計予算に対する修正案（提出者：寺口友彦）	否決（賛成少数）
発議第1号	高速バス十日町—新潟線の存続を求める意見書の提出について	可決（全会一致）
発議第2号	労働者の声を踏まえた真の「働き方改革」の実現を求める意見書の提出について	否決（賛成少数）

賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

議案	会派	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会				市民クラブ				日本共産党議員団			
	氏名	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	大平剛	永井拓三	桑原圭美	中沢一博	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	中沢道夫	岡村雅夫
第7号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
第9号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第10号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第13号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第23号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第35号議案		○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第7号修正案		×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
発議第2号		×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

平成30年3月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第1号報告	専決処分した事件の承認について（平成29年度南魚沼市一般会計補正予算（第5号））	承認（全会一致）
第2号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第3号報告	専決処分した事件の承認について（公用車両事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて）	承認（全会一致）
第4号報告	専決処分した事件の承認について（平成29年度南魚沼市一般会計補正予算（第6号））	承認（全会一致）
第1号議案	平成29年度南魚沼市一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）
第2号議案	平成29年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第3号議案	平成29年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第4号議案	平成29年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第5号議案	平成29年度南魚沼市下水道特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第6号議案	平成29年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第7号議案	平成30年度南魚沼市一般会計予算	可決（賛成多数）
第8号議案	平成30年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算	可決（全会一致）
第9号議案	平成30年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
第10号議案	平成30年度南魚沼市介護保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第11号議案	平成30年度南魚沼市城内診療所特別会計予算	可決（全会一致）
第12号議案	平成30年度南魚沼市下水道特別会計予算	可決（全会一致）
第13号議案	平成30年度南魚沼市水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第14号議案	平成30年度南魚沼市病院事業会計予算	可決（全会一致）
第15号議案	南魚沼市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定について	可決（全会一致）
第16号議案	南魚沼市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第17号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第18号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第19号議案	南魚沼市行政財産の目的外使用条例及び南魚沼市公有林野等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第20号議案	南魚沼市手数料徴収条例の一部改正について	可決（全会一致）
第21号議案	南魚沼市督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について	可決（全会一致）
第22号議案	南魚沼市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全会一致）
第23号議案	南魚沼市介護保険条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第24号議案	南魚沼市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	可決（全会一致）
第25号議案	南魚沼市都市公園条例の一部改正について	可決（全会一致）
第26号議案	南魚沼市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決（全会一致）
第27号議案	南魚沼市市営住宅条例の一部改正について	可決（全会一致）
第28号議案	南魚沼市個人情報保護条例の一部改正について	可決（全会一致）
第29号議案	南魚沼市屋外体育施設条例の一部改正について	可決（全会一致）

一般質問

一般質問の内容は一部のみを掲載しています。



質問順位

1. 大平 剛
2. 塩川裕紀
3. 中沢一博
4. 桑原圭美
5. 吉田光利
6. 永井拓三
7. 寺口友彦
8. 中沢道夫
9. 牧野 晶
10. 田中せつ子
11. 佐藤 剛
12. 目黒哲也
13. 梅沢道男
14. 勝又貞夫
15. 岡村雅夫

一般質問とは…

議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたですものです。



未来創政会
大平 剛

市の防災・災害対応について

答 防災が頭から離れたことはない

Q 質問 住民一人一人の危機管理意識向上に向けた市の取組は。

A 市長 総合防災訓練を28年度より、地域住民参加型の体験的訓練に切り替えている。また、主婦層をター

ゲットとした防災座談会を開催しはじめています。

Q 質問 福祉避難所の現状と今後の取組は。

A 市長 指定が進んでいないのが現状であるが、福祉避難所運営マニュアルの作成を行っており、完成後は、市内の全福祉施設の運営母体と協定締結等を協議していきたくと考えている。

Q 質問 消雪パイプ等の修繕・更新計画が必要では。

A 市長 全体的な更新計画の作成を検討している。



Q 質問 現在と同水準の除雪人員確保のための取組は。

A 市長 国・県などの取組を支援し、除雪オペレーターの人材確保に繋げたい。

答

交通安全意識を醸成し、取り組んでいく



南魚みらいクラブ
塩川裕紀

交通安全について

Q 質問 新年度を迎えるにあたり、園児・児童・生徒の交通事故が心配される。子どもたちに対する交通安全指導の現状と、今後の取組は。

A 市長 市では、交通安全実施計画を定め、対策を進めている。市内すべての小・中学校、総合支援学校において交通安全教室を開催している。南魚沼警察署の協力を得て、特に事故の多い4月～5月にかけて、交通ルールが身につく体験型の訓練や指導を行っている。保育園、認定こども園についても5月以降、同様に行っている。

Q 質問 現在の通学路整備に関する警察署との連携は。

A 市長 関係機関と合同点検を実施し、危険個所の確認や安全対策の意見交換を行った。各地区の通学路において対策が必要な箇所をリストアップし、計画的な歩道の整備、道路改良事業を進めている。

Q 質問 南魚沼交通安全協会の存続について考えは。

A 市長 なくなった場合、市内で運転免許証の更新ができなくなる。特にお年寄りへの影響が大きい。何としても存続させたい。南魚沼警察署の移転を機に、署内に入れてもらえないか各方面と協議を始め、会員の増加についても力を入れていく。



歩道がない通学路



未来創政会
中沢 一博

「新地方公会計制度」の導入を

答 実施に向け進めている

Q 従来の地方自治体の「現金主義会計」制度に企業会計的要素を取り入れ、複式簿記による「発生主義会計」の手法を採用し、①数値化、②見える化、③分かる化の三つのキーワードを活用し、今後の無駄削減とコスト意識向上等、具体的な課題に取り組みると考える。早期実現を求めるが。

A 新公会計制度導入に伴う個々の資産を管理する固定資産台帳は完成した。今まで見えにくかった資産のストック状況や減価償却等コスト状況を掌握し、見える化に努めていく。3月末には、市のウェブサイト公表したい。財政課の窓口でも閲覧でき

るようにしたい。それにより公共施設整備の将来にわたる更新、必要額など、事業別の分析によるコスト削減も可能になる。今後、職員の特修の研修を行い、進めていく。

民泊新法に向け

答 独自の規制が必要では

Q 認識は同じである

Q 急増する外国人観光客に伴い、国は「民泊新法」の施行に向け進めている。当市において、旅館業の許可を有した民宿・旅館施設等が多い中、健全な事業者を守るためにも、自治体が独自の規制条例をつくる必要があると考えるが。

A 国は違法民泊に対応するため、公衆衛生の確保・地域住民とのトラブル防止のため施行する。規制条例を定めるのは都道府県、または法律業務処理のできる保健所設置市しかできず難しい。認識は同じであるが、県条例を3月議会と考えているので先ずは見守りたい。



未来創政会
桑原 圭美

高齢者が住みよい環境整備を

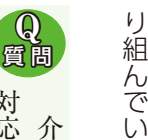
答 重要課題として取り組む

Q 当市の高齢者人口は31年度には18,000人を超え、高齢者福祉は子どもの教育や若者の雇用の安定化同様に大きな課題である。高齢者のみの世帯や、独居老人世帯の増加に対応できる福祉政策を検討しなければならない。

A 第7期介護保険事業計画に対するアンケート結果をどう活かすか。介護度が重くなった場合、施設入所を希望する人が多く、特養等施設整備が必要と考える。

Q 市は単独事業として、高齢者・障がい者・母子世帯等への支援として、民

生委員の方と連携を強めて取り組んでいく。



未来創政会
桑原 圭美

介護の人手不足への対応は。

Q 65歳以上の方が登録する介護支援ボランティア制度を活用していく。

A 地域包括ケア連絡協議会と南魚沼地域在宅医療推進センターを中心に、事業を行っている。また、多職種の方にも研修会に参加していただき、さらなるサービスの向上を目指していく。

Q 介護離職と経済の影響についての考え方は。国は介護離職ゼロに向けてサービス基盤の整備を求めている。社会的に必要な人材が離職していくのは、経済的にも損失と考える。

Q 介護離職と経済の影響についての考え方は。国は介護離職ゼロに向けてサービス基盤の整備を求めている。社会的に必要な人材が離職していくのは、経済的にも損失と考える。

Q 交通弱者対策とコンパクトビレッジとは。取り組み可能な整備を検討していく。小さな拠点づくりは、地域包括ケ



南魚みらいクラブ
吉田 光利

地域コミュニティ事業の交付金増額は

答 地域主体で有効な事業は増やす

Q 市民主体の自由裁量が行財政改革メリットはどうか。評価されるか。

A 事業に対し、早く安く柔軟な対応と、地域コミュニティと分館との融合で、メリットは大いにある。

Q さらなる充実を図るべきと思うが、今後の事業展開は。

A 分館事業との連携により、教育環境の充実。世代間交流を高める場にする。また稼いだ事業育成で自立をめざす。例えば、地域産品の育成拠点とし「ふるさと納

アシステムや総合計画の中で検討していく。

「税返礼制度」など、いろいろ検討したい。

Q 質問 機能拡大と充実には支援交付金の増額が必要と思うが、どうか。

A 市長 きわめて重要な問題と考える。今までも少しずつ増やしてきた。限りある財源の中で、稼げるしくみや独自財源確保も考えたい。

積極的な婚活支援を

答 関係団体と連携を密に取り組む

Q 質問 地域から、「市として真剣に取り組んでほしい」との声は少なくない。今一つ活動が伝わってこないが、専任等を設け積極的に取り組むべきと思うが。

A 市長 大変重要な問題である。民間の方が得意な面があり、市としては兼務体制とする。



未来創政会
永井拓三

一般市民向けの市内スキー場共通シーズン券について

答 なかなか解決できない課題だと認識している

地方創生が叫ばれる昨今で、地域特有のスポーツを地域住民が日常のようにすることで地方は活性化し、そして観光収入となりうるものに変わっていくのではないだろうか。

Q 質問 子どもがいない市民に対して、市内スキー場共通シーズン券を購入する機会は与えないのか。

A 市長 親と子という組み合わせだけでなく、祖父母と孫といった組み合わせでもシーズン券を買えるように制度を見直す必要があると思う。

またシーズン券だけではなく、割引券などの方法も考え、多くの市民が利用しやすい

い制度に変える必要があるとも考える。

Q 質問 生涯教育とスキー・スノーボードの関わり合いについてどう考えるか。

A 市長 当市の魅力である雪を利用した教育には力を入れる一方で、義務教育のカリキュラムを大幅に変えることは難しいことも事実である。



市民クラブ

寺口友彦



ふるさと納税寄付金を新たな基金に

答 一般財源と考える

Q 質問 ふるさと納税の使い道を、牧之茶屋改修、児童保育施設改修、介護人材確保、モンスターパイプのナイター照明、渋谷区でのふるさとPRなどにした。厚意に応えるためには基金を作り、ウェブサイトで使い方がわかるようにせよ。

A 市長 寄付は8コースに分けたが、市長におまかせが多いため、一般寄付扱いとする。29年度分で7500万円を使い、1億5000万円は財政調整基金に積んだ。使い道はしっかりお知らせしていく。

個別施設名をあげた統廃合計画を出せ

答 今年度作成を目指す

Q 質問 市の施設をそのまま更新すると、普通会計で33.6億円、インフラで33.1億円、上下水道で18億円、合わせて84.7億円と巨額の試算だ。これには病院事業が含まれていない。個別の名をあげて統廃合を示せ。第2次

財政計画を守れ。

A 市長 公共施設総合管理計画で、施設更新費の試算はした。維持管理費の金額については推計していない。

今、個別の施設カルテを作成しており、完成後維持管理費を算出する。公開時期は見通せないが、内部で検討会議を設置した。



日本共産党議員団
中沢道夫

市の事業は精査された上で行われているか

答 精査している

Q 質問 合併後取り組んできた大型開発の検証をきちんとおこなったうえで、モンスターパイプへの投資が行われているとは思えないが、さらに4000万円以上もかけてナイター照明を設置する必要があるのか。
当市の財政規模で「国内有数」というような施設を単独

で維持していくのは無理ではないか。

A市長 未来のトップアスリートを育てていく上で必要な投資だ。今後は国の種目別活動拠点としての指定を受けるよう努力していく。

また県とも維持管理費については話し合っていく。

地方創生に関わる事業の費用対効果は

答 チャレンジが必要

Q質問 R C 関連事業については順調に進んでいない中で、雪をアピールするためのプロモーション企画に2200万円もかけて事業を行う必要があるのか。

子育て支援や、お年寄りの医療・介護の充実が市民の切実な要求だ。そちらを優先すべきではないか。

A市長 雪国を発信しないわけにはいかない。地方創生は国が認めた事業であり、他のところを削って進めているわけではない。



歩む会
牧野 晶

新潟県原発検証委員会について

答 考えて必要であれば意見する

Q質問 市としての問題点・課題をこの委員会に伝えているのか。

A市長 検証委員会は任命された専門委員が話し合う場で、市町村が意見を言う場所ではないが、求められれば意見は言う。市としての意見は県の担当者会議で伝えている。

Q質問 市としての問題点等が検証委員会で議論されなければ意味のない委員会になる。県に意見を聞くように求めるべきではないか。

A市長 熟慮し、必要なときには公式の場で自分の意見を出す。

市内業者育成について

答 市内業者優先で進めている

Q質問 市の予算は減少していき「市内業者」をさらに進めなければならない。どう進めるのか。

A市長 市の入札や契約に関する基準もきちんと規定し、従来から市内業者優先を原則に進めている。



柏崎原子力発電所



市民クラブ
田中せつ子

児童虐待防止対策の充実について

答 不断の努力を続ける

Q質問 子どもたちの心身ともに健やかな成長を支援することが重要だが、成果と課題は。

① 児童家庭相談では虐待と養護相談がほとんどをしめ、育児放棄もあるが、早期に発見・対応できているか。
② 新年度策定の「自殺対策計画」の中では、相談窓口を見直すのか。
③ 孤立防止と安全な居場所づくりとして「子ども食堂」に取り組む考えはあるか。

A市長 ① 「要保護児童対策地域協議会」を通じて情報を共有し、関係機関の連携により早期発見、早期対応につながっている。

② 今ある相談窓口の周知徹底を図るとともに、連携部署で情報共有ができる体制を

検討している。
③ 全国の事例を把握し、支援制度の周知と活用を働きかけていきたい。

県・市民税申告相談会について

答 より良くするよう考える

Q質問 市民に正しく洩れなく申告してもらうために、相談会は利用しやすくすることが必要。

① 電話予約や地区割り予約や空き状況を確認できるような工夫はできないか。
② 混みやすい曜日や時間帯を事前告知し、会場に行つてから出直すことがないよう納税者に配慮した工夫はできないか。

A市長 ① 平成28年度の利用状況は、1日平均237人。待ち時間を短縮するよう努めているが、混み具合は変動が激しいので、電話予約や空き状況の確認は難しい。

② 来場者に説明し都合に合わせて対応をしている。



市民クラブ
佐藤 剛

新たな教育指針の 対応と教育環境整備は

答 順次進める

Q 質 問 今後の教育方針を示す次期学習指導要領では、小学校で初めてプログラ

ミング教育が必修化となるが、都市部と地方では現状の教育学習の環境に大きな格差がある。国を挙げて進めるプログラミング教育での環境整備に格差が出たら、ますます格差が広がる。電子黒板、無線アクセスポイント増等、学校のICT環境の整備をどう進めるか。また、小学校で英語が教科になる。授業運営の体制をどう進める。

「子どもの読書活動推進計画」を策定中だが、学校司書の配置で、児童生徒の能動的な学び実現と蔵書のデータベース化推進など、目標値を設定した5ヶ年計画での読書環境推進の考えは。

新学習指導要領により新たに求められることも多いが、反面教員の多忙化は改善されない。残業時間の実態把握や多忙化解消の考えは。

A 教 長 プログラミング教育での環境整備では、電子黒板の配置、無線アクセスポイント増等、検討を進めたい。

英語の教科化に向けては、30年度にALTを1名増、その後1名増で移行準備を進める。学校司書は専門に1名配置する。読書推進計画は目標値を盛り込みたい。

教員の多忙化は事務や部活等で解消されていないが、部活では体育協会等外部指導者をどう育成するか、検討に着手した。



南魚みらいクラブ
目黒 哲也

中心市街地の今後の 展開は

答 まずは中心市街地の 方々がどうしたいのか

Q 質 問 六日町駅前ロータリー周辺の整備計画はあるか。

A 市 長 都市計画は終了している。新しいので新たな整備計画は難しいが、中心市街地の皆さんの要望が大事である。

Q 質 問 駅ロータリーに送迎バスや一般車両スペースを作るべきかどうか。

A 市 長 できる部分を模索しながら、検討を進めている。

Q 質 問 市街地や坂戸山にプロジェクトションマップを利用してはどうか。また六日町大橋にイルミネーションをつけてはどうか。

A 市 長 予算がかかるので今は難しい。

小・中・高校生への 大会出場支援は

答 経費の50%を支援 している

Q 質 問 一定以上の大会出場時には市から補助をし、学校によって個人負担が変わらないようにできないのか。

A 市 長 現在、中学生には運動、そして文化において県大会以上に出場するときには参加費・宿泊費・交通費などの経費の半分を補助している。小学生には基金などで支援をしている。高校生はしていない。今年度は240万円の補助金を支出している。

Q 質 問 ある大会で学校によって同じ大会・宿舍・行程なのに個人負担が異なるのはどうしてか。平等であるのが望ましいのでは。

A 市 長 市は一律50%補助をしているので、学校の後援会費等によって異なるのではない。



Q 質 問 基幹病院では看護師不足から3病棟が稼働できていない。また、循環器科では医師不足から心臓カテーテルもできなくなる。ようやく確立した救命救急体制が崩れ、これまで救うことができた命も救うことができないう問題認識や改善策をうかがう。

A 市 長 看護師確保について創設を予定している。循環器科では心臓カテーテルは休止となるが、外来診療はほぼ維持できる。

市でも改善を強く求めており、早い段階での改善を病院長も明言している。



市民クラブ
梅沢 道男

医療再編の完結を 急げ

答 強く求めていく

上越線の除雪対策の強化を

答 話し合いを始めて
いる

Q 質問 J R 上越線は、市民
の重要な公共交通機関
である。分割民営化時には、

「冬を乗り切って初めて鉄道
が鉄道として成り立つ」とい
う理念は、民営化後も当然残
る。」としていたが、今冬の
状況を見ると、大きな疑問を
感じざるを得ない。

J R の除雪対策を沿線自治
体と連携し、新たな体制で要
望活動を行う必要があると思
うが、市長の考えをうかがう。

A 市長 毎年県と要望してい
る。除雪対策も重要事
項として要望している。

Q 質問 定期の要望は理解し
ているが、別に沿線市
町と連携した新たな切り口で

の取組を願いたい。

A 市長 その方向で話し合い
を始めている。



歩む会
勝又貞夫

空き家・空き地に ついて対策を急げ

答 調査を続けている

Q 質問 総務省統計局の予測
では、15年後には3軒
に1軒が空き家になるとい

わ
れている。空き家・空き地は
年々増加傾向にあるが、これ
に対する市の取り組みはどう
か。昨年4月に創設した空き
家バンクは機能しているか、
その現状について問う。

A 市長 行政区長の協力によ
り、平成27年に空き家
の実態調査を行った。これに
基づき平成28年に南魚沼市空
き家対策計画を定め、その後
も全ての空き家の調査を続け
ている。この問題に対応する
ために空き家バンクを創設し
たが、まだ登録物件はない。

登録申請の申し込みはある。
登録が増えれば、空き家バン
クの利用者も増えるものと思
えている。

Q 質問

市の中心市街地にも
空き地が目立つ。「市
が買い上げて、街づくりを推
進するべきだ」との市民の声
もある。空き地の増加は、新
たな街づくりのチャンスでも
あると思うが、市の今後の取
り組みについて問う。

A 市長 六日町の中心市街地
に空き地・空き店舗が

目立つようになってきたが、
空き地を「行政が買い上げれ
ばいい」というだけのことで
はない。六日町商工会と連携
し、地域の自発的な取組や、
空き家バンクとあわせて考え
ていきたい。



六日町駅前通りの空き地



日本共産党議員団
岡村雅夫

新ごみ施設建設地 環境汚染と風評被害 が心配

答 同意をいただき、
秋に地域計画を
提出したい

Q 質問 新ごみ処理施設建設
地は国際大学敷地内に
内定したと、関係区長に説明
した。

環境汚染と風評被害が心配
だ。ダイオキシン類は猛毒で、
体内に取り込まれると脂肪に
蓄積される。焼却炉では完全
に除去できるか。廃棄物の焼
却で発生するため、いかに焼
却量を減らすかだ。過大な炉
は可燃ごみが不足し、悪循環
に陥るのではないか。

A 市長 炉はストー力型で9
00度ほどで燃焼する
ため、焼却炉への負荷が軽く
なる。ダイオキシン類は80
0度以上で熱分解されるため、
それ以上で燃焼した場合発生

しなくなる。燃焼ガスをバグ
フィルターに通すことにより
煤塵などと共に、ほぼ完全に
除去することが実証されてい
る。

Q 質問 建設と運転業務を
セットで入札するD B

0方式で安全か。事業者は効
率・経済性が優先する。熱エ
ネルギーの活用は、炉の安全
運転が最優先だ。24時間稼働
が基本で、公設公営でやるべ
きではないか。

A 市長 持てる技能を総動員
して安全性を確保する。
公設公営とするか、D B 0方
式とするか、今後考えていき
たい。



新ごみ処理施設建設予定地

総務文教委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年1月23日

○調査内容
①消防車両・ポンプの現状と更新について

南魚沼市消防本部の現地調査と消防庁、消防次長、警防課長より説明を受けました。

消防車両は、総務省消防庁からの「消防力の整備指針」に基づき地域の実情に合わせ、車両の台数・職員数などを算出しています。来年度は、はしご車の入れ替えとなり、13メートルブームの多目的消防ポンプ自動車を導入予定です。

Q 消防団のC-1ポンプは更新しない方針であるが、地元の自主防災組織で役立つように引き渡す考えはあるか。

A 要望のあった自主防災組織の中で、消防団OB等から運用してもらえれば大変良いと考えている。

②統合中学校の運営と空いた中学校校舎・教室の活用について

統合中学校である八海中学校は、統合する3校の校長をはじめ教職員の連絡協議会を設立し、授業交流や部活動交流などに取り組んでいます。空校舎になる五十沢中学校の校舎は五十沢小学校、学童保育と五十沢地域づくり協議会、五十沢開発センター、郷土史編纂室で利用し、大巻中学校の校舎は、平成31年度開校予定の新生「おおまき小学校」の校舎として利用する予定です。

③市内小学校の統合の進捗について

現在の市内小学校の統合について教育部長、学校教育課長から説明を受けました。

大巻地区は、五日町小学校と大巻小学校を統合し、平成31年度4月の開校に向け協議を進めています。

上田地区は、第二上田小学校が平成34年に複式学級となる可能性が出てくるため学区再編の検討は引き続き継続していく方向です。

Q 赤石小学校と三用小学校の統合は検討されているのか。

A 今のところ複式の恐れがないので、現在は様子を見ながら、なおかつ地域の要望が上がってきたときに検討しようと考えている。

④企画プロモーション事業について

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて「雪ふるさと 南魚沼」の魅力発信する企画プロモーションについてU&Iときめき課長より説明を受けました。

雪利活用による新たな事業展開、エネルギーとしての利活用等の世界に発信するために3月に集雪した雪を7月から8月にかけて開催される渋谷区のお祭りに運び、南魚沼の夏の雪祭りを構想しています。

現在、渋谷区はオリンピック、スポーツ関係でも大変盛り上がり、若者と海外の旅行者が大変集まる場所でもあるので、南魚沼市の発信は非常に効果的であり、インバウンドや移住定住に向けても絶好の地でありチャンスであると考えています。

Q 12月議会での集雪量と残す雪量が異なっているのは詰めが甘かったのでは。

A 業者との打合せの中で混同があった。実際は1,000mを集雪・貯雪し、300mぐらい残すとの計画であり、当初見積もりの段階でもその設定に基づいた金額を想定し予算要求したものである。

産業建設委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年1月31日

○調査内容
①平成30年産米の販売戦略と市内内付状況について

農林課長より資料に基づき説明を受けました。

米の販売戦略について、主な実績として、「南魚沼コシヒカリ×紀州みなべの南高梅コラボイベント」は、2日間で約2,000人の来場がありました。平成30年度活動予定については、国際大学と連携した「国際おにぎりフェスタ」のPRにより、認知の向上とファン層の拡大を促します。平成30年産米需給調整第1回進捗状況報告書は、集荷予定合計1万6,888t、出荷予定は1万6,248tとなり、数量では約640tの不足、主食用米はほぼ前年並みの生産予定でしたが、現状では集荷業者の需要を満たしていないため、調整が行われる予定です。

Q 転作していた土地に作付できる見通しはあるのか。

A 報告数値では作付しても、問題ないと考えています。

②GAPの普及、拡大に向けた方向性と取り組みについて

農林課長より資料に基づき説明を受けました。

GAPは、農産物の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取り組みであり、全国的にGAP認証取得に向けた動きが加速しています。平成30年度から、新たに認証取得した

場合の維持・更新に必要な費用等の補助を計画しています。

Q 団体認証を取得した場合、識別管理はされるのか、価格の差別化はあるのか。

A 識別がない状態であり、価格の差別化は難しいと考えています。

③当市のインバウンドの現状と今後の取り組みについて

商工観光課長より、資料に基づき説明を受けました。

市ではインバウンドの誘客を、南魚沼市観光協会に観光PR事業として委託し、実際の受け入れ体験の検証ツアー・語学研修・4か国語の観光パンフレットを発行しています。平成28年度は3,585泊でしたが、平成27年度に対して19.2%の増加となっています。具体的な数値目標として、外国人宿泊客を2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに2,000人ずつの増加を考えています。

Q 旅行者に対して日本への訪問回数、目的等の調査は必要と思うが、やっているのか。

A 宿泊調査を始めて、内容の精査は今後になります。どこから来たかという調査は始めています。

社会厚生委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年1月24日

○調査内容

①「地下水の採取について」

現地調査を行い、環境交通課長から資料に基づいて説明を受けました。条例改正後の井戸設置件数は重点区域で42件、その他区域で34件、合計76件です。地下水利用監視補助員は2人で1月から3月にかけて週2回程度の業務を実施する予定です。

Q 今シーズン中に、地下水位をリアルタイムで確認できるようにするのか。

A セキュリティの問題で公開できていない。今シーズン中に確認できるようにしたいと考えている。

②「高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）について」

介護保険課長、福祉課長から資料に基づいて説明を受けました。

高齢者福祉サービスの大きな柱は「生きがいづくり」「生活支援」「住まい」「憩いの場」の4つです。地域包括支援センターの運営は第6期計画と同様に直営で行い、本庁舎に地域包括支援センターを、大和庁舎及び塩沢庁舎の2か所にサブセンターを設置することで計画しています。他市で取り組んでいるコンパクトビレッジについて関係課と検討を進めます。

Q 介護従事者が不足している中、施設整備を計画しているが人員の確保は大丈夫なのか。

A 整備する意向を示した事業者に

は、人材を確保してもらえると考えている。人材育成・確保の事業も支援していく。

③「新ごみ処理施設建設の進捗について」

廃棄物対策課長から資料に基づいて説明を受けました。行政主導で建設候補地の選定を進めています。

現在、2市1町で異なる分類区分及び処理手数料の統一について検討を進めています。

Q 施設が稼働するまで、職員を固定して取り組んでいく考えはあるのか。

A 職員を固定できるかは、2市1町を通じて要望していきたい。

○期日 平成30年2月13日

○調査内容

①「新ごみ処理施設建設の進捗について」

廃棄物対策課長から資料に基づいて説明を受けました。候補地は新ごみ処理施設検討委員会の提言、実施する上での経済的合理性、実現性等を考慮し、検討してきました。その結果当市国際町の国際大学用地内が最も適当であるとの結論に至ったり、今後、周辺集落等への説明を行い、理解を得たいと考えています。

Q ごみの分別は、魚沼市とどのような協議がされているのか。

A 両市にとり最も効率的な方法に、どうすり合わせできるか協議している。

議会の動き

11月29日	中国駐新潟総領事表敬訪問	25日	定期監査及び行政監査の結果に関する報告
12月2日	西野辰夫氏瑞宝双光章受賞祝賀会	26日	南魚沼市建設業安全協議会新年会
4日	平成29年12月議会定例会	29日	魚沼市議会視察来訪（調査の有効活用について）
13日	議会運営委員会、会派代表者会議	31日	会派代表者会議・産業建設委員会
14日	東北電力㈱議長面会来訪	2月1日	市民クラブ政務活動
16日	黒井安雄氏受章記念祝賀会	2日	新潟春節祭開幕式・初回公演
19日	東京電力㈱ 信濃川事業所議長面会来訪	3日	節分祭（大崎八海山社務所）・ガンホームスタンプイブブランドオープンセレモニー
21日	ほのほの広場オープニングセレモニー	5日	歩む会政務活動
22日	糸魚川市駅北復興まちづくりシンポジウム2017・八海山麓スキー場安全祈願祭	6日	南魚みらいクラブ政務活動
26日	福島県三春町議会視察来訪（塩沢牧之通り）	7日	沖縄県つるま市議会視察来訪（南魚沼版COCRC構想）
1月1日	平成30年賀状元日記連出発式	8日	林道大崎水尾線開通祝賀会
5日	新春初市	9日	新潟県市議会議長会春季定期総会
9日	議会広報編集特別委員会	10日	第68回南魚沼市雪まつりレセプション・友好都市歓迎セレモニー
11日	平成30年大和商工会新春賀詞交歓会・（一社）雪国青年会議所新年祝賀会	13日	社会厚生委員会
14日	平成30年南魚沼市消防団出初式（塩沢方面隊）	14日	正副議長・産業建設委員と農業委員の意見交換会
15日	16日 未来創政会政務活動	15日	南魚沼市都市計画審議会
16日	議会広報編集特別委員会・市民クラブ政務活動・全国市議会議長会第134回国会对策委員会・六日町商工会新春賀詞交歓会	16日	第30回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会・会派代表者会議・議会運営委員会・山形県寒河江市議会視察来訪（コメの販売戦略と消費拡大政策について）
18日	南魚沼市議会議員役員会・市民クラブ政務活動	17日	第69回十日町雪まつり雪上カーニバル・歓迎レセプション・第34回しおざわ雪まつり
21日	平成30年南魚沼市消防団出初式（六日町方面隊、大和方面隊）	19日	南魚県友会総会
22日	第68回南魚沼市雪まつり安全祈願祭	20日	六日町温泉旅館組合新年会
23日	議会広報編集特別委員会・総務文教委員会	21日	専決処分の報告
24日	社会厚生委員会	23日	住宅委員会、六日町工業クラブ第64期新年例会
		24日	後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・2月定例会

平成29年度他市町村議会からの視察を受け入れました

南魚沼市の特徴的な取組や先進事例についての視察を14件、138人受け入れました。

日付	自治体名	視察内容
4月13日	群馬県安中市	南魚沼版CCRC構想の取組について 人口減少問題プロジェクトの取組について
4月17日	新潟県	「グローバルITパーク南魚沼」構想の取組について
7月25日	京都府	国際大学の概要について 「南魚沼版CCRC構想」の概要と国際大学の役割について 南魚沼市地域産業支援プログラム(ICLOVE)による地域振興の取組について
7月28日	栃木県壬生町	南魚沼版CCRCについて
8月1日	山形県酒田市	南魚沼版CCRCについて
8月18日	東京都墨田区	「グルメマラソン大会」について
8月22日	静岡県磐田市	子ども・若者育成支援への取り組みについて
8月23日	岐阜県中津川市	市街地空間の整備(中心市街地)
8月28日	静岡県静岡市	南魚沼版CCRC構想について
10月12日	茨城県筑西市	市立病院と在宅医療について
11月21日	新潟県魚沼市	社会体育施設の利用について
12月26日	福島県三春町	塩沢宿牧之通りに係る総合的なまちづくりについて
1月29日	新潟県魚沼市	庁舎の有効活用について
2月7日	沖縄県うるま市	南魚沼版CCRC構想について
2月16日	山形県寒河江市	ブランド米の販売戦略と消費拡大策について

編集後記

議会報が出るときには、田植え間近です。南魚沼コシヒカリにおいて、Aなどという判定はないと思いますが、魚沼コシヒカリの特A奪還に向け一丸となって頑張りましょう。議会報をお読みいただき、ありがとうございます。

編集委員 塩谷寿雄

この編集後記を書いているのは3月22日です。今ほど、南魚沼総合支援学校の卒業式に出席し、たくさん感動、そしてありがとうございました。3名のスペシャルゲストも来てくださり、学校目標の宇宙一の卒業式になりました。

6月定例会 予告

6月に市議会定例会を開催します。

6月4日～15日(予定)

お問い合わせは 議会事務局 ☎773-6650へ

議会広報編集 特別委員

委員長	吉田光利
副委員長	梅沢道男
委員	大平剛
委員	目黒哲也
委員	中沢道夫
委員	勝又貞夫
委員	塩谷寿雄